作成日：2023 年 04 月 26 日　第 1.0 版

表題：pT1 大腸癌の臨床病理学的特徴と予後から検討した若年性大腸癌における検診発見の意義

１．研究の対象

対象となる方：『pT1 大腸癌のリンパ節転移の国際共同研究』の研究対象者となった方。

調査対象期間：2009 年 7 月から 2016 年 12 月まで上記診断となった方。

２．研究目的・方法

目的：近年、50 歳未満の若年性大腸癌の増加うけ、40 歳代での検診の必要性が議論されている。しかし、若年性大腸癌は悪性度が高く予後不良とする報告もあり、検診対象年齢の引き下げが、若年性大腸癌の予後改善に効果的であるかは明らかではない。今回、早期発見の効果を検証するため、pT1 大腸癌のみを対象に、若年性大腸癌における生物学的特徴と予後を検討した。

研究期間：2017 年 9 月 15 日から 2020 年 1 月 31 日（すでに解析は終了しています。）

３．研究に用いる試料・情報の種類

☒ カルテ情報（氏名、住所、電話番号など個人を特定する情報は除く）

☐ 画像　☐ 検査結果　☐ 血液　☐ 尿・便　☐ 腫瘍組織

☐ その他（詳細：　　）

４．外部への試料・情報の提供

☒ あり（提供先：大腸癌研究会プロジェクト研究代表者宛て　　）

☐ なし

５．資料情報の取扱い

資料はカルテ記載の情報のみです。

対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

５．研究組織

大腸癌研究会プロジェクト研究「pT1 大腸癌のリンパ節転移の国際共同研究」国内 27 施設の多施設組織

https://www.jsccr.jp/project/proj_pt1.html

6．利益相反

臨床研究における利益相反(COI:Conflict of Interest)とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの施設の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

☐ あり（企業名：　　）

☒ なし

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、お申出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、対応できないことがあります。

※照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
〒320-0834
栃木県宇都宮市陽南 4-9-13
栃木県立がんセンター消化器内科
電話 028-658-5151
今野真己（こんの まき）

研究責任者：　栃木県立がんセンター消化器内科　今野真己